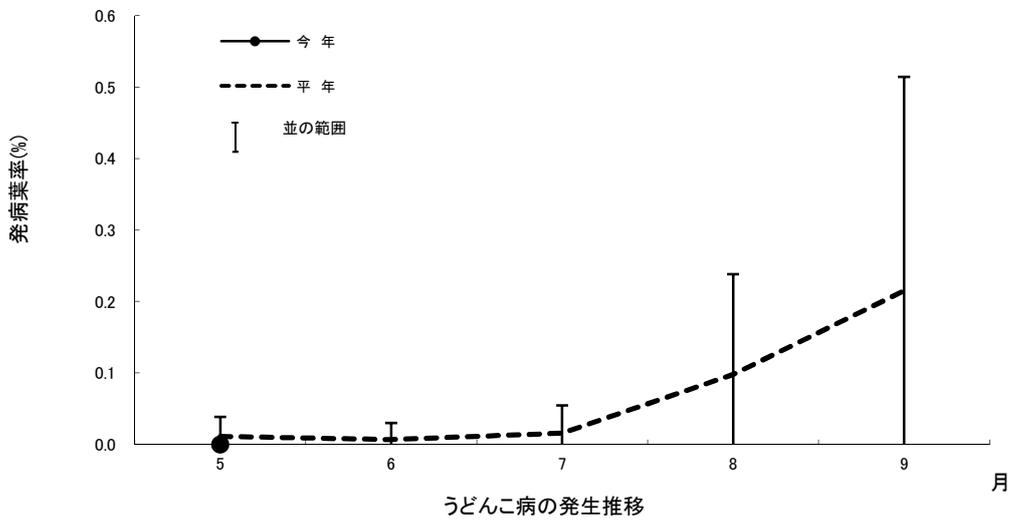


作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	① うどんこ病		
5月の発生量（現況）	(発生なし)並		
6月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発病葉率の平年の発生推移から、5月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

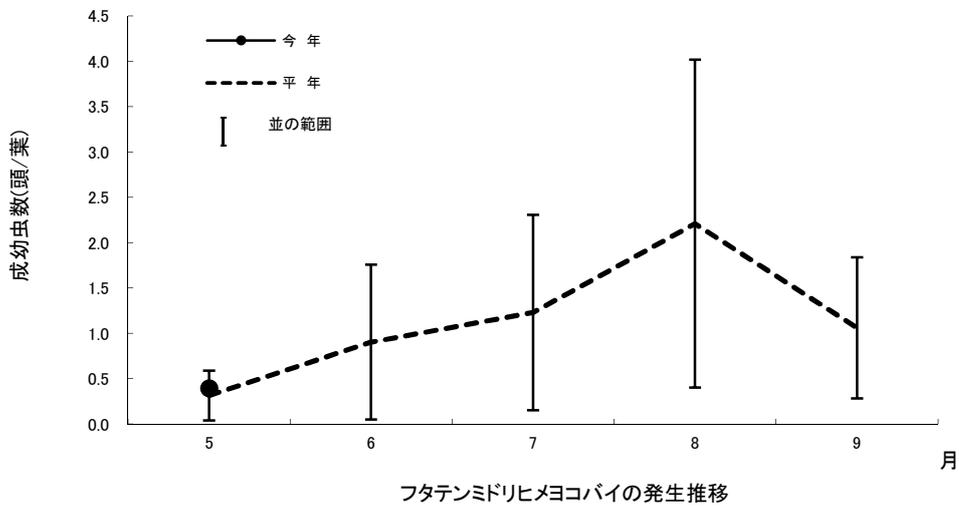


防除のポイント

- ・ 不要な老葉や下葉を除去し、透光通風をよくする。
- ・ 発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	② フタテンミドリヒメヨコバイ		
5月の発生量(現況)	並		
6月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、5月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)



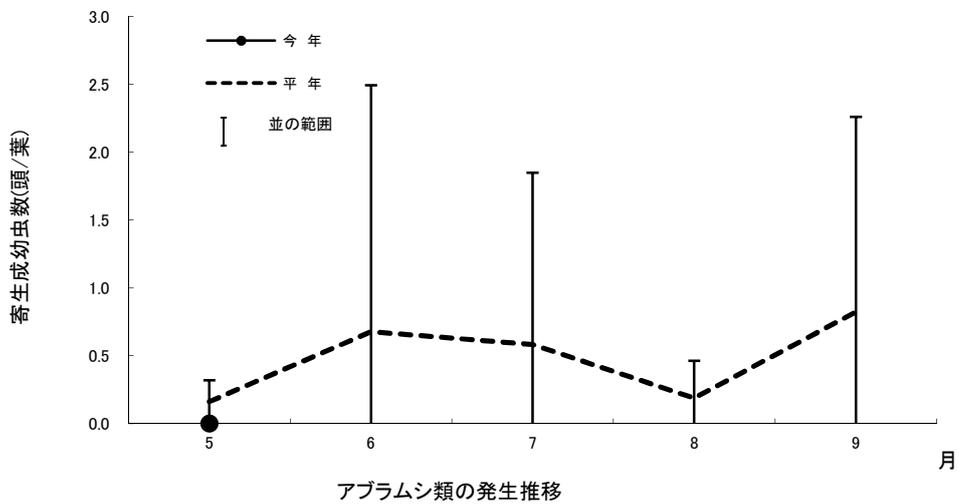
- ・一部ほ場で多発した。

防除のポイント

- ・多発すると吸汁加害により葉の萎縮や黄化が進行し、生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	③ アブラムシ類		
5月の発生量（現況）	(発生なし)やや少		
6月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移から、5月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

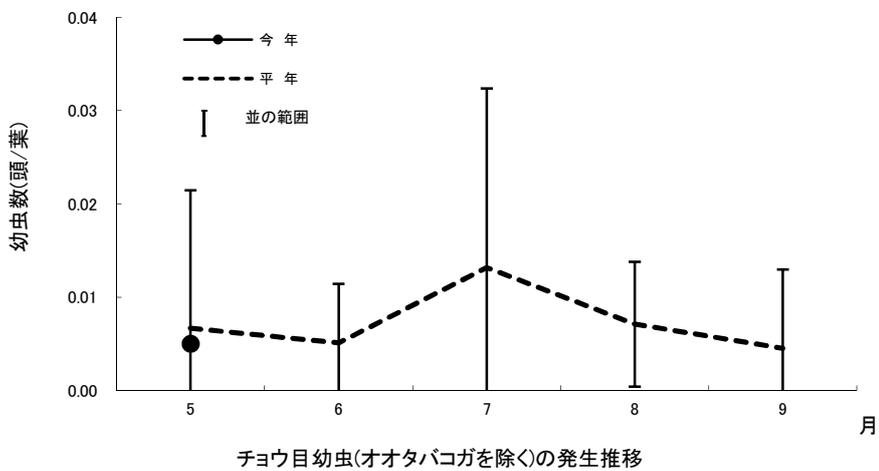


防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	④ チョウ目幼虫(オオタバコガを除く)		
5月の発生量(現況)	並		
6月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	幼虫数の平年の発生推移から、5月と同程度の発生量と考えられる。		

発生量の根拠(調査結果)



・発生種：ワタノメイガ



防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・巻き葉内の幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、速やかに薬剤を散布する。